

吉崎別院だより創刊

門野哲文輪番からのごあいさつ

平素より本願寺吉崎別院の護持発展のためご尽力くださっており、ありがとうございます。借りて深くお礼を申し上げます。本願寺吉崎別院は、蓮如上人御旧跡地として全国に名高い場所であり、積極的に当院のお知らせをお伝えし、喜んでおりました。そこで、今後より広くこの蓮如上人の御遺徳がしみ込む吉崎の地を多くの方に知っていただきたく、また吉崎の現状を多くの方に知っていただき、思いから、この度の「本願寺吉崎別院だより よっさきさん」を創刊することといたしました。今後ともぜひこれまで以上にあなたのご支援をよろしくお願いいたします。

本願寺吉崎別院輪番 門野哲文



【No.01】2019年春
本願寺吉崎別院だより よっさきさん

発行
本願寺吉崎別院
〒922-0679 福井県あわら市吉崎 1-201
電話/FAX: 0776-75-1903
発行日: 2019年4月1日

NEWS ニュース

被害を一部修繕



■ 本堂後堂サッシ入れ替え



■ 中宗堂 雨どい修繕



■ 中宗堂 / 渡り廊下

修繕前は甚大な雨漏りが発生していた

本願寺吉崎別院 年間行事予定

| | |
|----------|----------------|
| 元旦会 | 1月1日 |
| 春季彼岸会 | 3月21日 (例年彼岸中日) |
| 蓮如上人御忌法要 | 4月27日～5月1日 |
| 報恩講法要 | 8月7日～8日 |
| 秋季彼岸会 | 9月23日 (例年彼岸中日) |
| 除夜会 | 12月31日 |

支援金により修繕が可能に

甚大な雨漏り回避
本堂後堂サッシも

■ 暖かい支援あいつぐ

平成二十九年の台風二十一号に続き、平成三十年の記録的な豪雪により本堂をはじめ中宗堂、門徒会館、経堂と全体的に被害が続きながらも、資金難により応急処置を含めた

修繕対策が滞っていましたが、その状況に胸を痛めてくださった各団体、寺院、個人の方々のあたたかい支援によって、一部修繕を進めることができました。

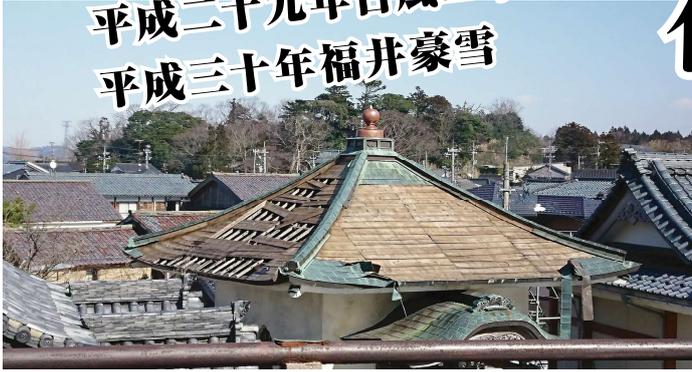
■ 緊急度にあわせて

被害は広範囲にわたっています。緊急度の高いところから優先的に修繕を進めています。特に豪雪被害によって破損が著しかった中宗堂から門徒会館に続く渡り廊下、本堂北側から東側にかけての屋根は、少雨でも滝のような雨漏りに悩まされていたため最優先で応急的な対策も含め修繕対策いたしました。さらに屋根からの落雪で破損した本堂後堂の窓ガラスは、数カ月間ブルーシートでふさいだだけの対策しかできていませんでしたが、支援金により新しいサッシと交換することができました。その他、中宗堂の雨どいの修復や崩落の危険があった本堂屋根瓦の補強なども施しました。これら修繕により、かろうじて無事平成三十年八月の報恩講法要を勤めることができました。ご支援くださった方々に心より深くお礼を申し上げます。

※支援者の方々のお名前は2ページに記載

平成二十九年台風二十一号
平成三十年福井豪雪

被害状況



平成二十九年の台風二十一号では、経堂の屋根がほぼ飛散し屋根板がむき出しの状態になっています。その後の豪雪により土壁が剥がれ落ち、現在も壁の崩落が進んでいます。応急処置を含めた対策が打てない状態が続いています。また、同台風により本堂内陣および外陣の扉が吹き飛ばされました。現在は古畳等で応急処置をしています。こちらも復旧のめどはたっていないです。

平成三十年の豪雪では、本堂・中宗室を含めた全施設の屋根瓦が広い個所で多数破損しました。これにより深刻な雨漏りが続いています。有志の方々の支援金により、一部緊急を要する個所については修復されています。また、本堂後堂の窓ガラスが落雪により破損しましたが、こちらも支援金により修復されています。

これら以外にも、老朽化による破損なども含め、随所雨漏りや、破損拡大が危惧される場所が手つかずで多く残されたままとなっております。

COLUMN

コラム

▼「夜もすがらたたくふなばた吉崎の鹿島つづきの山ぞ恋しき」蓮如上人が吉崎退去の際に詠まれたと伝わるお歌である。▼一向一揆が勢いを増し、このまま上人が吉崎に留まり続ければこの地は戦火に吞まれることが明らかであった。上人は苦渋の決断をされる。暁前の闇に隠れ、上人はご子息方に手引きされて舟に乗り込まれた。▼暗闇のおそろしい海を、前も後も、西も東も知れないまま、ゆらりゆらりと小舟は不安に進む。ただ、やむことなく波が舟端をパタンパタンと叩きつづける。それはあたかも如来の大悲が無明の苦海に「のせて必ず渡しける」と聞こえつづけてくださるようだ。▼吉崎参詣の諸衆に、この如来の大悲を余さず確かにお伝えできたのだろうか。先の歌は、志半ばで退去せざるを得なかったそんな悲しく口惜しい上人の想いが伝わってくる。▼足掛け五年たらずのご滞在は、しかし今も脈々と蓮如上人の悲願を受け継ぐ。証拠はこの口について出てくださるお念仏の声。それはご恩に報いる法の道ゆきであった。

災害被害への支援金をくださった方々 (敬称略・2019年3月現在)

- 浄土真宗本願寺派(災害見舞金
浄土真宗本願寺派宗会議員各位
- 【福井教区】阪北組 円陵組 福井組 足羽組 仏教壮年会連盟 寺族婦人会連盟 仏教婦人会連盟 阪北組仏教婦人会 円陵組仏教婦人会 丹生組仏教婦人会 円陵組寺族婦人会 蓮華の会 龍川組西宮寺 吉田組勝縁寺 円陵組厳教寺仏教婦人会 聖徳仏教婦人会
- 磯崎輝男 大久保孝瓶 加藤隆義・多美子 金龍静 佐々木俊一 羽田アキ子 前川マス子 水野政男 藤本實子
- 他

編集後記

この別院だよりを創刊するきっかけとなったのはこれまで多大なるご支援をくださっている方々へお礼を申し上げたいという輪番の思いからです。紙面を制作しながら、台風や豪雪の被害に右往左往していたことを思い返しつつ、同時にたくさんの方の力でこの別院が護持されていることを再確認しました。ご支援本当にありがとうございます。

(編集担当)